

南風原町農村生活研究会

交流
部門

完熟かぼちゃとヘチマを活かした体験交流でふるさとづくり
(平成25年度認定)



南風原町農村生活研究会は昭和33年発足した。当会では「農業振興」と「地産地消」を念頭に置きながら生活改善や農産物加工講習会等を通して会員相互の連絡を密にし、地元農産物の活用方法と普及に努め、関係機関や他団体と連携し、情報・技術の交換会を行い、組織活動の向上に取り組んできた。

地元農産物を活かした創作料理の研究を通じ、若い世代にも取り入れやすいように洋風のレシピの作成や、町内小中学校での食育活動としてクラブ活動やPTAで料理講習会等を行っている。また、文化交流や視察研修で訪れる他県や外国の方にも地元農産物の紹介を行い、手作り料理を通じ交流を行っている。最近では県やJA等の指導のもと「粉末カボチャ」や「ヘチマジヤム」を開発に取り組むほか、生産日本一を誇る特産のヘチマの販売促進活動として、「美瓜(びゅうりー)」を町主催の博覧会や物産展等での食べ方を紹介し普及に努めている。また、南部農林高校食品加工科の学生とともに農産物の加工開発で相互に情報・技術の交流を図っている。

このことから、地域の生業体験を生かし地域内外との交流が積極的に取り組まれていることから交流部門に認定された。



テレビ出演で特産品PR



かぼちゃ粉末・ペースト開発



ヘチマピクルスを使った3Bバーガー



沖縄そばかぼちゃ麺づくり講習会



中学校での料理講座



ふるさと博覧への出展